

談話標識 *tu sais* および *tu sais quoi*

2023年6月24日（於東北大学）

日本フランス語学会 343回

肖宜桐（福岡大学大学院）

本発表は、フランス語の談話標識 *tu sais* および *tu sais quoi* についての考察である。使用するコーパスは、ノルウェーのドラマ SKAM のフランスリメイク版 SKAM FRANCE から収集した対話である。これらの対話に含まれる談話標識 *tu sais* および *tu sais quoi* を取り上げ、その周辺に現れる語とともに、*tu sais* および *tu sais quoi* の機能を考察する。

まずは、本発表で談話標識とみなす *tu sais* とそうでない *tu sais* を区別し、分析対象を明確にする。次に、談話標識 *tu sais* をとりあげた Morel (1998) 安齋(2008)を概観し、Morel (1998)による動詞 *savoir* の働きと安齋(2008)による *tu sais* の機能の分類を参考にする。

続いて、本発表のデータに基づいた分析を行う。談話標識 *tu sais* と共起する語によって4つのグループ (*tu sais* と *moi/moi aussi* と共起する場合、*tu sais* と *mais* と共起する場合、*tu sais A,B* の場合、*tu sais* と *genre* と共起する場合) に分け、その働きを検討する。そして *tu sais quoi* については共起する語によって2つのグループ (*tu sais quoi* + 命令形、*tu sais quoi* + 命令形以外) に分類し、考察を行う。*tu sais* には前後の発話内容や話し手と聞き手を関係づける働きがあるというのが本発表で示したいことの一つである。そして、この働きは、動詞 *savoir* 自体の働きとなんらかのつながりがあるように思われる。

Tu sais quoi に関しては、動詞 *savoir* に加え、*quoi* の働きも関与するため、聞き手の立場を問題にせず、話し手自身の立場を確保する働きをもつと考えている。

本発表では、*tu sais* および *tu sais quoi* を中心に考察するが、他の談話標識、特に発表者がすでに考察を行った *tu vois* との違いについても、少し触れてみたい。